

## 平成 25 年度補助事業の方針について(案)

本財団の補助事業は、地方自治体が施行する競輪・オートレースの売上げの一部を広く社会還元することを目的に、自転車、機械工業の振興並びに社会福祉・公益の増進に関し社会貢献を果たしています。

機械工業振興分野については、「機械工業の基盤を支えてきた地域産業」、「ものづくり産業の振興及び産業活力を高め、新たな価値の創造への取組み」、それらを後押しする活動などを支援します。

公益振興分野については、「高齢者、障害者の社会参加など、地域社会と人とのかかわりの中で、つながりを築く取組み」、「生きがいが高められる活動」、それらを後押しする活動などを支援します。

両分野共に、「将来の社会的ニーズの先駆的な取組み」及び「新たな社会的課題に挑戦する取組み」を積極的に支援します。限られた財源をより一層効率的・効果的な社会貢献活動に向けていくため、「チャレンジ、チェンジ」を合言葉に補助事業を行ってまいります。

また、東日本大震災の復興には、相当の期間が必要であり、息の長い支援が求められることから、今後とも震災復興の支援に重点的に取り組むこととします。

### 1. 機械工業振興補助事業関係

#### 1-1 振興事業

「目的志向が明確な事業」あるいは、「事業成果が機械工業全般に波及し、社会貢献に繋がる事業」への支援を重視していきます。更には、近時、自然災害へのリスク対応が深刻化していく中、短期間で具体的成果が得られる社会的貢献度の高い事業について重点的に支援していきます。

#### 1-2 公設工業試験研究所

公設工業試験研究所は、地域産業に一定の役割を果たしてきました。近時、産業のグローバル化の進展に伴い、新産業の創出や産業の高付加価値化が急務となってきており、「機器導入の目的が明確な事業」や「テーマ性のある事業」を重視していきます。

また今後は、産業界と大学の連携(産学公連携)による研究開発に資する設備機器への支援や、各地域の産業振興計画との関連性があるテーマ設定に対応した設備機器への支援を重視していきます。

#### 1-3 研究補助

機械工業という枠にとどまらず、より柔軟で独創的な研究を通し、機械工業の振興に資する分野を中心に、より広い分野の研究が活発に行われるように支援します。

また、研究補助の採択にあたっては、「チャレンジする姿勢で、リスクに果敢に取り組む研究」への支援を重視していきます。同時に、募集拡充を図るため、募集時期を複数回にわたり設定するほか、「ポスドク」、「大学院課程研究者(博士課程)」も応募対象とし、次代の日本を担う若手研究者の育成を支援します。更に、機械工業系の女性研究者への支援を推進していきます。